



▲住宅用火災報知機の調査と必要性の説明を行いました。

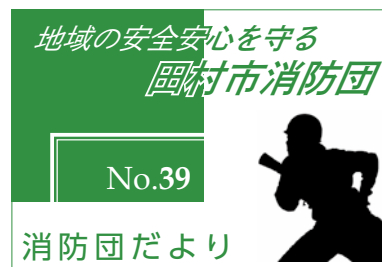
都路地区隊は都路分署と「火災ゼロ宣言」の実現を目指しています。

毎月5の付く日を防火・防犯の活動日とし、月に3回、夜警および車両などの点検を行い、予防消防に取り組んでいます。

11月15日に秋の火災予防運動に合わせ、防火パレードを実施しました。また、都路分署と合同で、住宅用火災警報器の調査を行い、未設置世帯へは必要性を説明し、設置のお願いをしました。

12月20日に年末年始の防火・防犯広報活動を都路分署、都路駐在所と合同で行い、防火・防犯に関するチラシなどを配布しました。

今後とも都路地区隊は「火災ゼロ」を目標に活動していきます。



都路の 安全・安心のため！ 火災ゼロ宣言 都路地区隊

今回の消防団だよりは、都路地区隊を紹介します。



第1回 田村市中学生 ビブリオバトル

6校の代表による
知的書評合戦

市で初めてとなる「田村市中学生ビブリオバトル」が昨年11月28日、市役所で開かれました。このビブリオバトルは、中学生がさまざまな分野の本に触れる機会を通して、読書の楽しさを知り自ら進んで読書に親しむという、読書習慣を身に付けることを願って開催されました。

市内6校から7人の生徒が発表者として参加し、各校から8人の生徒と引率教員1人が観戦者として参加しました。

各校の予選を勝ち抜いてきた発表者の7人は、推薦本の内容に対する深い読みと自己対話から得られた考えを堂々と述べ、それぞれが違った角度から本の良さをアピールしていました。

観戦者も発表者の主張を真剣に聞き取り、ディスカッションタイムでは、登場人物の人物像のとらえ方やもっと知りたいことなどを積極的に質問していました。

チャンプ本を決める投票後、講師にお招きした、詩人 和合亮一さん（わがしやういち）の講演を行いました。和合さんは、詩の朗読のほか、詩人としての活動や、ご自身と身近な方々の東日本大震災での体験を通しての家族の絆や



人と人とのつながりの大切さを話されました。涙を流しながら聞く生徒や保護者もあり、心に響く講演となりました。

投票の結果、船引中学校3年佐久間基（さくまはじめ）さんの推薦本「時給三〇〇円の死神」（著者：藤まる）がチャンプ本に、滝根中学校3年 神保寧来（かんなましずく）さんの推薦本「パンと牛乳は今すぐやめなさい！」（著者：内山葉子）が準チャンプ本に選ばれました。2人には記念のクリスタルトロフィーが手渡されました。

地域おこし協力隊奮闘記

はじめまして。矢部春樹と申します。

昨年10月から地域おこし協力隊として活動しています。

生まれも育ちも大阪です。大阪で学生生活を過ごした後、2年間東京で働きました。これまで都会で育ってきましたが、ずっと地方移住に憧れていました。もともとアウトドアが好きで登山やサイクリング、キャンプをしてきました。自然と触れるたびに将来は「空気の美味しいところに行きたい。」という思いになりました。

学生の頃は地域づくりのインターンシップにも参加し、地方での生活も体験し将来の移住を心に決めました。

田村市とはもともと縁がなく、移住先を決めるときに初めて知りました。職場の人と話を進め、田村市に足を運ぶ中で



やべべや

vol.01

都会っ子の地方移住。 これからのチャレンジ

「ここに住もう！」と決めました。

田村市での生活も2カ月経ちました。自然に恵まれた環境での生活はとても充実しています。人の多さや、時間に追われる都会ならではのストレスはなくなりしました。

現在、温かい人に囲まれ、美味しい地元の食材を食べる日々が続いています。

これからは田村市民として地域に貢献できるよう頑張ります。

